

横浜市情報・視聴覚教育研究会

～一年間を振り返って～

研究会長 林 弘之

昨年、閣議決定された「第2次教育振興基本計画」の社会を生き抜く力の養成項目の一つに「ICT の活用などによる協働型・双方向型学習の推進」が取り上げられています。社会の情報化が著しく変化している現代において、本研究会の役割は、益々大きくなってきています。

さて、今年度も昨年の研究を引き継ぎ、「ICT を活用して、子どもたちのコミュニケーション力アップ」のテーマで、「授業デザイン」と「スキルアップ」の2部会で研究を進めてきました。また、夏には次のような夏季研修会も実施しました。

7月25日(木)横浜市技能文化会館

「ICTを活用した評価視点獲得研修」 講師:インテル(キャリアリンク)

26日(金)神奈川近代文学館

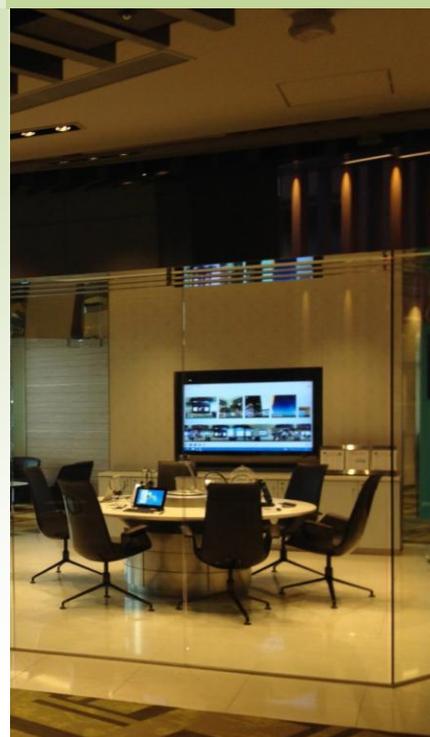
「手近な機材で教材(番組)づくり」 講師:本研究会役員

29日(月)日本マイクロソフト(品川オフィス)

「21世紀の教室体験会」 講師:マイクロソフト社

8月6日に横須賀で行われた県放送・視聴覚教育研究会の合同夏季特別研修会では、本研究会からいぶき野小学校の伊藤裕哉教諭が「情報モラルを考える～タブレット PC を使って～」のテーマで実践発表を行いました。8月末には横浜市学校視聴覚教育連絡協議会(浜視連-本市中学校視聴覚情報研との合同研究会)主催で東京本郷にある「啓林館」を会場に、デジタル教科書の研修会を実施しました。また、1月に行われた神奈川県視聴覚・放送教育研究合同大会・相模原大会では、茅ヶ崎小学校の岡田貴彦教諭が放送教材活用の分科会で「思いを伝え合い、学びを深める放送教材」のテーマで、NHK 学校放送「いじめをノックアウト」活用の実践発表をしました。

このように、約150名の本研究会員は、毎月の定例研究会だけではなく、県内の様々な所でも実践発表を行い、高い評価を受けています。また、会員相互の指導力向上に向けて、各種の研修会を積極的に実施してきました。今後も、児童の実態を正確につかみながら、児童のコミュニケーション力がさらに高まっていく研究を深めていきたいと思っています。



目次

特集記事

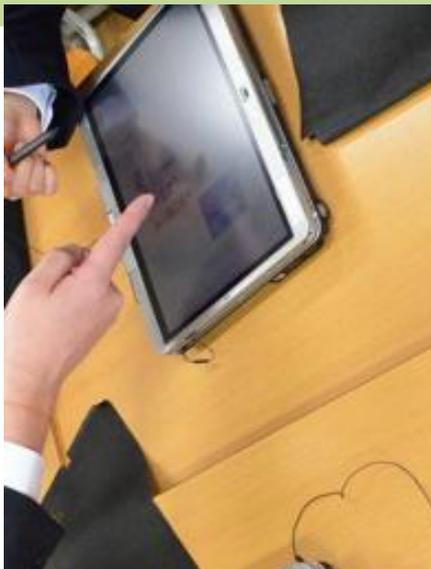
研究会長あいさつ	1
スキルアップ部会	2
授業デザイン部会	3
公開授業研究会報告	4

発行

横浜市小学校教育研究会
情報・視聴覚教育研究部会
会長 林 弘之

編集

紀要・広報委員
東森 清仁



スキルアップ部会の後期活動内容について

9月には、NTTコミュニケーションズの方々に研究会へお越しいただき、最新の国・自治体の状況や、横浜市次期YYNETの概要や検討状況についてお話しいただきました。大きく話題にあがったのは、「タブレットPC」についてでした。内容としては、他都市では順次導入されていく中、横浜市にはいつ頃導入されるのか、またそれに伴って学習環境がどのように変わっていくのか、ということでした。次期YYNET については、CMSサービスによる学校HP更新の効率化や、検索機能の充実、動画配信サービスの開始が検討されているとのことでした。

10月には、12月に行われる情報・視聴覚研究部会公開授業研究会に向けて、授業デザイン部会・スキルアップ部会合同の指導案検討を行いました。多くの資料が残っていない「吉田新田」について、どのような資料をもとに子どもに議論させていくか、などについてワークショップ形式による議論を行いました。各グループからは、江戸時代の常識と今の常識の違いによる議論の困難さ、議論を二項対立にするための資料の内容吟味の必要性、資料の希少性から討論場面の変更など、具体的な改善案が発表されました。

ICT 機器の活用方法や情報交換など、
情報・視聴覚担当者にとって身近な課題についての研究をの中から考えていけること

スキルアップ部会活動経過

9月 会員研究

「次期YYNetについて」
常盤台小学校 東森 清仁先生

10月 両部会合同開催

各部会前期活動報告会
公開授業研指導案検討・機材紹介
港北小学校 近藤 睦先生
いぶき野小学校 伊藤 裕哉先生
東汲沢小学校 吉田 圭一先生

11月 両部会合同開催

公開授業研究会 指導案検討

12月 公開授業研究会

「入り海を新田にした吉田勤兵衛」
東汲沢小学校 吉田 圭一先生

1月 両部会合同開催

「タブレットを使った実践提案」
谷本小学校 須永 昌男先生

2月 第二次研究大会 部会活動報告

「教員の ICT 活用能力のスキルアップを目指して」
いぶき野小学校 伊藤 裕哉先生

「教員の ICT 活用能力のスキルアップをめざして」

スキルアップ部会 部長 伊藤 裕哉

11月には、公開授業研究会に向けて、2回目の2部会合同による指導案検討を行いました。吉田勤兵衛の功績や素晴らしさを伝えるための授業の方策をグループごとにワークショップ形式で議論を行いました。大きく話題にあがったのは「相手意識」。吉田勤兵衛の功績や業績を「誰に」伝えるのか。その視点を明確にすることで、子どもたちの意欲を高め、また、相手に合った内容を検討した中で、子どもたちのコミュニケーション力を高めることができるのではないだろうか、という意見が参加者の皆さんから聞くことができました。

1月には、谷本小学校の須永先生による「タブレットPC導入に向けた取り組み」についての提案をしていただきました。国語では、絵をアップで見せたり、討論会の様子を動画で紹介したりする。体育では、器械運動や運動会演技の動画を再生する際に、再生スピードを調整しながら子ども自身が自分たちの動きを振り返る。その他教科での実践についても、様々な提案がありました。他都市では、順次導入が始まっているタブレットPC。この横浜もいずれ導入されることが予想される中、具体的なタブレットPCの実践を見ることができ、とても勉強になる研究会でした。

今年度は「教員のスキルアップ」を目標とし、校務システムの運用の仕方やICT機器の活用方法や情報交換、次期YYNET についてやタブレットPC導入に向けた取り組みなど、各校の情報・視聴覚担当者にとって身近な課題、必要感のある課題について研究していきたいと考えていました。

良かった点として、実践提案・研究だけでなく、どの場でも意見交換の場がもてたことが挙げられます。また、合同部会で研究することにより、二つの部会の間で情報交換を行い、より一層研究を深めることもできました。児童のコミュニケーション力アップという目標に対してはまだ検討の余地はありますが、研究会として日常的に校務や授業にICT機器を有効活用しながら進めていくために、スキルアップ部会では情報・視聴覚担当の先生方と実践や研究、交流の機会が更にもてるよう工夫して部会を運営していきたいと思っております。



授業デザイン部会活動経過

9月 会員研究

「私たちの体と運動」
～ワークショップ形式による授業改善～
東戸塚小学校 藤原 直樹先生

10月 両部会合同開催

各部会前期活動報告会
公開授業研指導案検討・機材紹介
港北小学校 近藤 睦先生
いぶき野小学校 伊藤 裕哉先生
東汲沢小学校 吉田 圭一先生

11月 両部会合同開催

公開授業研究会 指導案検討

12月 公開授業研究会

「入り海を新田にした吉田勤兵衛」
東汲沢小学校 吉田 圭一先生

1月 両部会合同開催

「タブレットを使った実践提案」
谷本小学校 須永 昌男先生

2月 第二次研究大会 部会活動報告

「教育メディアを効果的に活用し、コミュニケーション力を育む授業デザイン」
～主張的レベルでのコミュニケーションを目指して～
港北小学校 近藤 睦先生

授業デザイン部会の後期活動内容について

9月の会員研究では、東戸塚小学校 藤原先生に4年生理科「わたしたちの体と運動」の授業を提案いただきました。子どもたち自身が実際に自分や友だちの骨格を手で触り、実物大の腕の骨格模型をつくっていきながら関節の数や動きについて考えるという授業でした。この提案は授業改善ワークショップとして、提案者が授業後に感じた課題を中心に、その改善案を考えました。小グループに分かれ、授業者の思いを中心に据えて活かしながら単元計画から本時にわたってのアイデアを出し合い、後半はそれぞれが発表し合って授業研究を深めました。

10月、11月には、公開授業研究会に向けて指導案検討を行いました。東汲沢小学校の吉田先生の4年生社会科「入り海を新田にした吉田勤兵衛」の授業でした。

「協働的な学びでのコミュニケーション」

授業デザイン部会 部長 近藤 睦

問題解決的、探究的な学習では、子どもたちが自然と思考し動き出します。実物や模型で示したり、図や写真で示したり、ICT を使って示したりすることで、子どもたちの議論が絡みやすくなります。協働的な活動でコミュニケーションをとりながら、子どもたちの思考は深まっていきます。「活動の相手意識や目的意識が必然性を生んでいるか。」「子どもたちの多様な考えが生まれ、それを互いに伝え合う必要のある場面を仕組む教師の投げかけはどうか。」それらに話題が集まりました。そうして迎えた12月の公開授業研究会は、単元のはじめにお世話になった学芸員の方に学習の成果を発表する活動をゴールに据えて、プレゼンテーションを制作する過程が本時場面となりました。YY-net で公開されている動画などの資料を活用し、子どもたちは互いに対話を重ねながら学習した事実と自分なりの考えについてプレゼンテーションソフトを使ってまとめていきました。

これらの指導案検討、研究協議についても、昨年以降取り入れているワークショップ形式での検討会を重ねました。子どもたちのコミュニケーションの高まりを目指して、まずは教師自らが協働的な学びのよさを体現したいところです。そしてこれからは、コミュニケーション場面で互いの考えを十分に可視化できる手立てを考え、授業デザインに取り入れていきたいです。これらは子どもたちのコミュニケーション場面を見取っていく力にもつながると考えます。

さらにたくさんの方の参加をお待ちしています。

公開授業研究会報告

単元名

「入り海を新田にした吉田勘兵衛」

学校 横浜市立東汲小学校

学年・組 4年2組

教科 「社会」

授業者 吉田 圭一教諭



公開授業研究会 「入り海を新田にした吉田勘兵衛」

【公開授業】

PC ルームを使い、2～4人程度の小グループ(伝えたい内容ごとに構成)で授業が行われました。吉田勘兵衛のことを横浜歴史博物館のエducーターの先生に、納得してもらえるようにプレゼン資料をつくる場面でした。

つくっていく中で、自分たちの考えとなる資料を取り入れたり、見つけたりしながら子どもたち同士の学び合いが見られました。吉田勘兵衛の人柄や功績についてそれぞれのグループが自分たちの考えに沿って、プレゼン資料を作成する姿から真剣さや楽しさがとてもよく伝わってきました。

【研究討議】

授業後に行われた研究協議会では、吉田先生の自評を受けて、「主張的コミュニケーション(討論・説得/納得)を図るための手立て(思考の共有・可視化、切実感と相手意識、多様な資料とふれる必然性)は適切だったか?」「教師による児童のコミュニケーション力の見とり、支援は適切だったか?」について活発に話し合い(ワークショップ型)を行いました。

その中でも、特に話題に挙がったのが、前者の「主張的コミュニケーションを図るための手立て」についてでした。

説得/納得というコミュニケーションの力を、子ども同士の討論の中で身につけさせることを目指すのか、エドゥケーターの先生へのプレゼンの際に意識させて身につけさせることを目指すのか、という部分において多くの意見が出ました。教師が意図的に、どの場面でコミュニケーション力の育成を図るのかをはっきりさせる必要性を出席者一同が感じた、活発な話し合いになりました。

今回の吉田先生の貴重な授業提案を受けて、研究会としてもさらに研究を深め、子どものより良い学びと成長を実現していきたいと思えます。

研究会WEBページ

市情報・視聴覚研究会では、活動の内容を広く知ってもらうために研究会WEBページを更新しました。

各学校に配布している毎月の広報誌「メディアワールド」のバックナンバーや、年間紀要・季刊広報誌などを公開しています。

また、公開授業研の指導案、各区から提供していただいた一斉授業研の指導案なども掲載しています。

ぜひ、日頃の教育活動に役立ててください。

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/kenkyu/es-ict/index.html>

Information & Communication
Technology in Education

トップページ 研究会について 部会の紹介 活動報告 情報教育指導案 教育資料集 研究紀要 リンク

つながる・学び・どこまでも

横浜市小学校情報・視聴覚教育研究会では、「ICTを活用して、子どもたちのコミュニケーション力アップ」の研究主題の達成に向けて、日々の活動に取り組んでいます。

横浜市小学校情報・視聴覚教育研究会のホームページへようこそ。
本研究会の活動内容や、指導・情報教育に関する情報をお知らせしています。

お知らせ

平成30年度公開授業研究会について

12月4日(水)に横浜市立東汲小学校にて公開授業研究会が行われました。
学年・組 4年2組
教科 「歴史がめざす」

活動報告
REPORT

情報教育指導案
TEACHING PLAN